

【浄化槽 改善事例】 ばっ気停止について

浄化槽へ空気を送る送風機について、コンセントが抜けたり部品の損傷等により稼働停止することがあります。

ばっ気停止(槽内に空気が送られない状態)になると、内部の腐敗により水質悪化だけでなく、悪臭等の原因となります。

送風機のコンセントは抜かないようにしましょう。また送風機が停止し浄化槽から悪臭がする場合は、保守点検業者と相談のうえ、送風機の修理や交換等が必要になります。



ばっ気停止状態では浄化不足となり、側溝等放流先から悪臭がしたり、生物膜の付着が確認される場合があります。

そのため送風機が稼働していることを確認するとともに、ホコリ等の付着物をフィルターから除去する、また直射日光が当たらないよう風通しのよいカバーを設ける等の対策が望まれます。

